

イコール・ペイ・デイ（2015年4月10日） キャンペーン活動及び全国会議報告



女性が1年を超えて働いて、男性1年分の賃金と同額を手にする日、それを「イコール・ペイ・デイ(EPD)＝同じ賃金を手にする日」という。
賃上げ闘争ではありません。男女間の賃金格差を「見える化」して、社会の理解を広げようと世界各国のBPWが取り組んでいる運動です。

第2回 Equal Pay Day 全国会議

男女の賃金格差解消を目指して！

開催日：4月18日(土)13:30～16:30

会場：婦選会館ホールで、

後援：厚生労働省

内閣府男女共同参画局

【第1部】

政策説明 「女性の活躍促進に向けて」

厚生労働省雇用均等・児童家庭局

小林洋子雇用均等政策課長

【第2部】

基調講演

『女性はなぜ活躍できないのか』

講師：大沢真知子日本女子大学教授

参加人数：約50名

《概要》

第1部で小林課長は、男女間賃金格差とその要因、女性役職者が少ない理由などの統計資料とともに、女性の活躍推進・仕事と家庭の両立支援に係る施策の概要、それに『女性の職業生活における活躍の推進に関する法律』案の概要について、説明。

第2部の大沢教授は、日本の女性が活躍できないのは、女性に問題があるのではない。

女性が仕事をすぐに辞めてしまうことを前提として、女性を育てようとしない企業に問題があり、そのため、

やる気のある女性ほど辞めてしまう傾向があることを分かりやすく説明した。

また、大企業で育児休業などの制度は整っていても、実際には、賃金低下などの出産ペナルティーが存在するため、男女とも、子どもと仕事の両立が難しいことを示された。

1985年雇用機会均等法が成立した後も、7割近くの女性が出産後仕事を辞めている日本では、子どもと仕事の両立が難しいという認識がある。今回の大沢教授のお話で、日本では出産より、仕事にやりがいがないために辞める女性が多いと知った。

つくづく「もったいない日本の女性達」である。

日本の女性が活躍するためには、両立支援策と共に人材開発とポジティブ・アクションが必要だと改めて認識しました。

大沢先生の近著「女性はなぜ活躍できないのか」東洋経済新報社は、とてもわかりやすく、詳しいデータが掲載されている。

次に全国各地で開催したイコール・ペイ・デイ運動について、旭川、札幌、山形、東京、山梨、名古屋、岐阜、京都、大阪、和歌山、香川、福岡、北九州、長崎クラブ、あいちアソシエーツの会長から報告いただき、盛り上がった。

この他、世界のイコール・ペイ・デイ運動について、花崎国際委員長からわかりやすい説明があった。

最後にアピールを採択し、みんなで記念撮影をして散会した。

特定非営利活動法人日本BPW連合会 2015年EPD全国会議アピール

平成27年4月18日(土)

日本BPW連合会は、2015年EPD全国会議において、次のアピールを採択した。

1. 男女の賃金格差を知ろう！2015年のEPDは、4月10日。

男性が1年間に得る賃金を、女性は1年では得ることができず、4月10日になってようやく同額になるということに注目しよう。

2. 男女間の賃金格差の原因解消に向けて！

男女間の賃金格差の主な原因は、男女の継続勤務年数と職階の差である。

格差解消のため、様々な両立支援策とポジティブ・アクションを含む女性の能力開発が不可欠である。また女性が働き続けるために、「女性は仕事も家庭も、男性は仕事」という性別役割分担を解消し「男女とも、仕事と家庭」となるよう社会の意識改革を進めること。

3. みんなの協力で格差解消を！

*政府(中央・地方)に積極的な協力を求めよう！

*賃金格差解消にむけた施策を第4次男女共同参画基本計画に反映させよう！

*経済界・市民団体・マスコミ等に、「理解と協力と行動を！」と呼びかけよう！

各地での 2015 イコール・ペイ・デイ・キャンペーン

【連合会】

2015年4月18日全国会議開催

EPDの要望書の手渡し

4月24日 内閣府 武川恵子男女共同参画局長
名取理事長、平松企画委員長

5月1日 厚労省安藤よし子雇用均等・児童家庭局長
名取理事長、平松企画委員長、
東京クラブ名誉会長安陪陽子さん

両局長には、全国での活動を報告し、今後ますます積極的に展開しますとして、協力を求めました。

【札幌クラブ】

『身近な人々に「イコール・ペイ・デイ」の意味を理解いただき、私たちの想いを広げよう!』と会員が職場で説明する他各自のイベント等でチラシ配布。また、行政への文書送付を実施。

【旭川クラブ】

会員への周知と、様々な機会にチラシを配布。

【山形クラブ】

行政機関への表敬訪問により、EPDの説明と広報活動の協力を依頼

【東京クラブ】

4月10日に東京駅丸の内側でのチラシ配布と行幸通りで東京駅を背景に記念撮影。東京クラブだけでなく、内閣府男女共同参画局の方や、他団体の方もEPD活動に賛同して参加。朝日・読売・毎日等に掲載



【山梨クラブ】

4月10日 午前甲府駅北口 よっちやばれ広場に



そろいの赤いベストで勢揃い。山梨日々新聞社取材。

午後、関係機関への挨拶

【名古屋クラブ】

愛知県知事公舎にて大村秀章知事および吉本明子副知事他関係部署の方々に説明。名古屋市副市長室では、新開副市長はじめ男女平等推進室の関係者が全員赤色の服を着用して迎えていただき、その他、愛知労働局雇用均等室長訪問。



【あいちアソシエーツ】

チラシを活用し、啓発活動及びイコール・ペイ・デイの周知活動を実施

【岐阜クラブ】

「ハートフルネットぎふ」の例会にて、チラシを配布し説明。岐阜市女性センター広報コーナーにチラシを置く他、会員が職場や知人、友人にチラシを手渡してのPR活動

【京都クラブ】

門川市長とともに京都市役所前にてキャンペーン



【大阪クラブ】

大阪市女性会議などの関係団体へ、チラシ・クリアファイル送付・広報依頼のPR活動や、会員が職場・地域での広報活動の他、関係機関への表敬訪問実施

【和歌山クラブ】

事前資料送付&アピールポイント、EPD当日に、JR和歌山駅で揃いの赤いジャンパーを着



事業報告 イコール・ペイ・デイ

て、他団体と共にチラシ配布、知事他、関係機関アピール訪問実施。



【香川クラブ】

県知事、高松市長他関係機関への表敬訪問と高松丸亀町商店街壱番街でチラシ配布



【福岡クラブ】

県男女共同参画推進課、他の関係機関・施設を訪問し、チラシの配布・EPDの説明を実施。また、福岡県男女共同参画推進連絡会議(みらいねっと)に情報を提供、協力を要請。

【北九州クラブ】

4月10日夕方小倉駅前のペデストリアンデッキにて、チラシ配布。市総務企画局局長ら関係者と面談の他、企業経営者等へのアピール実施。



【長崎クラブ】

長崎市繁華街のどまんなかで、角の宝石店前に看板を立ててEPDをアピールして、チラシ配布



□EPDの推移(前年のデータ※で算出)※毎年2月に公表される、厚生労働省公表「賃金構造基本統計調査」の「所定内給与額の推移」から、一般労働者の数字を取り出して計算する。*



「一般労働者」とは、常用労働者の内、短時間労働者を除いたもの。詳細は、HP参照下さい。
<http://www.bpw-japan.jp/japanese/epd.html>

イコール・ペイ・デイ	調査データ(前年)	賃金格差%
2015年4月10日	2014年(平成26年)	27.79
2014年4月13日	2013年(平成25年)	28.65
2013年4月15日	2012年(平成24年)	29.15
2012年4月16日	2011年(平成23年)	29.36
2011年4月20日	2010年(平成22年)	30.67

イコール・ペイ・デイ	調査データ(前年)	賃金格差%
2010年4月19日	2009年(平成21年)	30.23
2005年4月27日	2004年(平成16年)	32.43
2000年5月8日	1999年(平成11年)	35.40
1995年5月17日	1994年(平成6年)	38.00
1990年5月24日	1989年(平成元年)	39.77

